

## 病気に関する質問表（龍馬/コロール共通、ファンダイビング専用）

### デイドリームパラオ及び/又は龍馬クルーズでファンダイビングに参加者される皆様へ：

この質問表は、デイドリームパラオ/龍馬クルーズでファンダイビングに参加される前に、医師の診断を受けるべきかを判断するためのものです。あなたが以下の各質問に Yes と答えたからといって、ダイビングをする資格がないことを意味するわけではありません。あなたのダイビング時の安全性を阻害させる条件を判断させ、ファンダイビングに参加する前に医師からのアドバイスを必要とすることを意味します。

あなたの過去と現在の健康状態に関して、以下の質問に Yes（「Y」の文字）または No（「N」の文字）で答えてください。回答が不明の場合は、安全を記して Yes と答えてください。

**Yes の項目がある場合には、デイドリームパラオ/龍馬クルーズでファンダイビングに参加する前に、医師と相談し「スクーバダイビングを行うに不適格であると考えられるような、医学的な障害が見受けられない」旨が明記された医師の診断書をダイビング前に提出してください。Yes の項目があり、医師の診断書が無い場合はファンダイビングへの参加をお断りいたします。**

### **以下の症状のある方は、診断書の有無に関わらずデイドリームパラオ/龍馬クルーズで開催されるファンダイビングへの参加をお断りしています：**

- ・ 現在妊娠をしている、もしくはその可能性がある。
- ・ 気胸がある、またはなつたことがある。
- ・ てんかん、発作、けいれんをおこす、またはそれを抑えるための薬を服用している。
- ・ 意識喪失や、気絶したことがある。（完全、又は一次的に意識を失う。）

**皆様の安全のため、ご理解の程よろしく願います。**

### 以前に以下の病気にかかったことがある、または現在かかっていますか？

- 何らかの肺の病気（肺炎など）がある、又はなつたことがある。もしくは肺（胸部）の手術を受けたことがある。
- 行動上の問題、または精神的、心理的な問題がある、又はなつたことがある（不安発作、閉所恐怖症、広場恐怖症など）。
- 複雑型偏頭痛を繰り返し起こす、またはそれを抑えるための薬を服用している。
- 赤痢または脱水症状で治療が必要である。
- 何らかのダイビング事故や減圧症である、又はなつたことがある。
- 過去 5 年間に、意識を失う頭部の損傷があった。
- 喘息（ぜんそく）、あるいは呼吸時の喘息（ぜいぜいする）や運動時に喘鳴が起きる、または起きたことがあった。
- 腰部または背骨の手術を受けている。
- 糖尿病である、又はなつたことがある。
- 高血圧症、又は血圧降下剤など、血圧をコントロールする薬を服用している、又はしていた。
- 心臓疾患にかかっている、又はわずらっていた。
- 心臓発作がおきる、又はおきたことがある。
- 狭心症、あるいは心臓外科手術、又は動脈手術を受けている
- 副鼻腔の手術を受けている。
- 耳の病気や手術を受けたり、内耳の病気が原因での難聴、耳鳴り、平衡感覚障害がある。
- 耳の病気を繰り返し起こす、又は起こしていた。
- 出血やその他の血液障害がある、又はあった。
- ヘルニアにかかっている、又はわずらっていたことがある。
- 潰瘍、又は潰瘍の外科手術を受けている。
- 大腸や回腸の人工肛門の手術を受けている。
- 過去 5 年間に娯楽で麻薬を使用したり、治療のために麻薬を用いた、又はアルコール依存症になったことがある。
- 現在医師により処方された常用している薬がある。

私の病歴について、上記の情報は、私の知るかぎり間違いはありません。デイドリームパラオ/龍馬クルーズでのダイビング中に私の病歴に何らかの変化が生じた場合、私はそのすべてについて、ガイドスタッフに伝える義務があることを確認します。私は現在あるいは過去の健康状態、あるいはいかなる健康状態の変化も明らかにしなかった場合、記載漏れの事項に関する責任を負うことに同意します。

参加者署名： \_\_\_\_\_ 日付（年/月/日）： \_\_\_\_\_

親権者/保護者署名： \_\_\_\_\_ 日付（年/月/日）： \_\_\_\_\_

## 注意して読んだ後にご署名ください。

この声明書は、スキン・ダイビング、スクーバ・ダイビングを安全に行うために必要なことを知っていただくためのものです。これらを再確認し、了解していただくためにまとめられたものであり、ダイビングをするにあたっての快適度や安全性を増していただくために作成されています。

私 \_\_\_\_\_ (氏名を楷書で) は、ダイバーとして以下の事項を守るべきであることを了解しています。

1. 精神的にも身体的にもダイビングに適したよい体調を維持します。ダイビングに影響を与えるアルコールや薬物は控えます。つねに十分なスキルレベルを維持し、継続教育を通じてスキルレベルを高めます。ある期間ダイビングから遠ざかっていたときは、安全なコンディションのもとでスキルの復習をしてコースで使用したテキストを読み直して重要なダイビングに関する知識をリフレッシュします。
2. 私が潜るダイビング・ポイントをよく知ります。初めて潜る場合やダイビング・ポイントの情報が不足している場合は、知識豊かな現地スタッフなどから正式なオリエンテーションを受けます。私が経験したことのある環境よりもコンディションが悪い場合には、ダイビングを延期するか、あるいは良いコンディションのダイビング・ポイントを代替地として選ぶようにします。私の受けたトレーニングや経験にあったダイビング活動にのみ参加するようにします。専門のトレーニングを受けていない場合は、ケープあるいはテクニカル・ダイビング活動に参加しません。
3. よく手入れされていて、使い慣れている器材を使用します。器材は各ダイビング前に正しく調整し、きちんと作動するかチェックします。スクーバ・ダイビングを行うときは必ずBCDと残圧計を使用します。ダイビングをするときは中圧インフレーター(パワー・インフレーター)付きのBCD、残圧計、ダイブ・プランニング/モニタリング器材(使い方の講習を受けたダイブ・コンピューターやRDP/テーブル)を使用します。認定を受けていないダイバーに私の器材を使用させません。
4. ブリーフィングや注意事項、その他ダイビングに関する説明や指示をよく聞いて、私のダイビング活動を監督する人のアドバイスに敬意を払います。また、特別なダイビング活動への参加、不慣れた地域でのダイビング、6カ月以上ダイビングをしていない場合などは追加のトレーニングが必要であることを認識しています。
5. ダイビング中は、最初から最後までバディ・システムを守ります。水中での連絡方法や万一離れ離れになったときに再集合するための方法、緊急手順などのダイブプランをバディと一緒に計画します。
6. ダイブ・プランニングに熟達します(ダイブ・コンピューター、RDP/テーブルで)。すべてのダイビングを安全マージンのあるノンストップのダイビングで行いません。水中では水深や時間をモニターする計器を使用します。ダイビングの最大深度は、私のトレーニング・レベルと経験の範囲内に制限します。1分間18メートルより遅い速度で浮上します。S.A.F.E.ダイバーになること - **Slowly Ascend From Every dive** (すべてのダイビングでゆっくりと浮上) を心がけます。水深5メートルで3分間あるいは用心してさらに長く安全停止をします。
7. 正しい浮力を維持します。BCDに空気を入れなくても中性浮力になるように、水面でウエイト調整をします。水中では中性浮力を保ち、水面移動するときや水面で休息するときにはプラス浮力を確保します。ウエイトはいつでも捨てられるようにしておき、トラブルのときは浮力を確保します。少なくとも1個の水面用シグナル(シグナルチューブ、ホイッスル、ミラーなど)を携帯します。
8. ダイビング中は正しい呼吸を維持します。圧縮空気を吸っているときには絶対に息ごらえやスキップ呼吸をしません。また、スキン・ダイビングなどの息ごらえダイビングでは、過剰なハイパーベンチレーションを避けます。水面、水中を問わず、水中にいるときは動きすぎて疲れてしまわないようにし、私の能力の限界内でダイビングします。
9. 可能な限り、ボートやフロート(浮具)、その他の水面用ステーションを設置して使用します。
10. 各ダイビング・ポイントでの漁業規則や、ダイブ・フラッグの使用など、ダイビングに関する法律や規則やルールを守ります。

私は、上記内容をよく読み、不明な点に対しては説明を受け、納得しました。私は、これらの実施要項の重要性と目的を理解しました。これらを守ることが私自身の安全と楽しみのために必要であることを理解し、ダイビングするにあたって、これらの実施要項を守らない場合には私自身を危険な状況においてしまう可能性があることを認識しています。

参加者署名

日付

未成年の場合、保護者の署名(親権者あるいは後見人)

日付